

## 設計及び工事の計画の認可申請(A型及びB型燃料体)に係る確認事項

ページ	項目	確認内容
II(3)-52	適用基準及び適用規格	原子炉安全専門審査会内規「加圧水型原子炉に用いられる17行17列型の燃料集合体について(昭和51年2月16日)」やJEAC4206等を「適用基準及び適用規格」として記載しないのはなぜか。(前者は添付資料3で記述されている)
II(3)-38	原子炉本体に係る工事の方法	表5において、検査項目では「挿入する前でなければ実施できない検査」となっているが、検査方法では「試験運転等により確認すること」となっており、挿入してから検査を行っているとも解釈できるが、矛盾していないか。
II(3)-72	原子炉本体に係る工事の方法	3.2a.の「他の加工施設」とb.の「他の共用中の加工施設」の違いを説明すること。
	原子炉本体に係る工事の方法	3.2e.の意味を説明すること。
II(3)-73~75/E	原子炉本体に係る工事の方法	図1※4、図2※3、図3※4はフローチャート上に記載されていないが、全体に付いての注記とすることか。
II(3)-75/E	原子炉本体に係る工事の方法	図3※1中の「加工」とフローチャート中の「加工」は意味が同じか。 図3※3の読点のみを「,」としている意味を説明すること。
IV(3)-2	品質マネジメントシステム	3.2.1のグレード分けについて、実用炉規則別表第二に該当しない「原子力発電所の安全上重要な設備及び構築物」とは何か。
IV(3)-4	品質マネジメントシステム	第3.2-1表の3.3.3(2)に「開発」が入っているのはなぜか。 第3.2-1表が添付資料5の第3.2-1表及び様式-1の記述と整合していないのはなぜか。
IV(3)-7	品質マネジメントシステム	3.5.1の最後のパラグラフの意味を説明すること。(主語等が不明で文章として成立していないのではないか)
IV(3)-10	品質マネジメントシステム	表3.5-1表の主な検査項目のいずれにも外観検査が無いが、それで問題ないのか。 溶接部に対する検査はどこに含まれるのか。
IV(3)-12	品質マネジメントシステム	3.6.5の意味を説明すること。(主語等が不明で文章として成立していないのではないか)
IV(3)-13/E	品質マネジメントシステム	4.において、設工認に基づく工事は「品質マネジメントシステム計画」ではなく「保安規定」に基づいて管理するとしているが、1.~3.までの説明と矛盾していないか。
1(3)-2-3、5、11、15、16	添付資料1	設工認の下線部が設置許可のどこの部分と整合しているのか不明。
2(3)-1/E	添付資料2	2.では「基本方針」や「機能維持の基本方針」も必要なのではないか。
3(3)-2	添付書類3	上部ノズル組立体及び下部ノズルは添付図面上でどこに該当するのか。
3(3)-4	添付書類3	燃焼度のうち、燃料棒最高の数値の根拠はどこに記載されているのか。 線出力密度のうち、通常運転時の最大線出力密度の数値の根拠はどこに記載されているのか。
3(3)-7	添付書類3	(1)の設計基準の記述は、ペレットの溶融点を指していないという理解でよいか。(1.1.1の略称定義とことなるため)
3(3)-11	添付書類3	第3-2図について、矢印が処理又は判断に戻る場合と矢印の途中に戻る場合の違いは何か。
3(3)-12	添付書類3	a.の「二酸化ウランペレットに対する熱膨張」とあるが、二酸化ウランペレットと何の相対性をのこを述べているのか。(第3-3図では「~ペレットの熱膨張」となっている) 第3-4においてガドリニア入り二酸化ウランペレットと二酸化ウランの熱膨張について説明しているが、同図のいずれが二酸化ウランのデータに該当するのか。
3(3)-19、20	添付書類3	熱クリープ及び照射成長の式で時間要素はどこに含まれるのか。 照射成長の式(3-8)の $\epsilon_{gr}$ にドットが必要なのではないか。 結論の文章ではばらつきがあることを述べているのに、「実測値と予測値は一致しており」となるのは矛盾しているのではないか。「おおよそ」や「ほぼ」などの形容詞は不要か)
3(3)-27	添付書類3	(b)の「安全側」の意味を説明すること。(他の説明でも出てくるが、この表現が適切か) (c)の冒頭3パラグラフはウランのみのことか、ガドリと両方のことか。
3(3)-37	添付書類3	(c)において「FPガス放出モデルは実測値を適切に予測している」とあるが、「適切」と言える根拠は何か。
3(3)-44	添付書類3	c.で対象とする「最長スパン」とは具体的にどの部分か。 (3-31)式の説明にあるc'はどこで使用されているのか。
3(3)-49	添付書類3	初期ガス圧の数値の根拠はどこにあるのか。
3(3)-58	添付書類3	3.3.3の「不確定性200℃」の根拠はどこにあるのか。
3(3)-79	添付書類3	b.(a)の摩耗量の根拠は何か。 b.(b)において、「破損が生じた」という仮定の説明として接触確率を述べる意味があるのか。
3(3)-89、90	添付書類3	48GWd/tの申請だが、a.で55GWd/tの事例を記載しているのはなぜか。
3(3)-90	添付書類3	b.について説明すること。(なぜB型の場合を説明するのかを含む)
3(3)-別紙-3、4/E	添付書類3	ANSYS Ver.10.0とVer.11.0の説明が全く同じだが、間違いはないか。その場合、バージョンの違いはどこにあるのかを説明すること。
4(3)-9	添付資料4	脚注一行目最後は句点が必要なのではないか。
4(3)-10	添付資料4	3.2.3に「リコイル・ノックアウト」とあるが、脚注の説明を見ると「リコイル及びノックアウト」ということか。
4(3)-12	添付資料4	一行目の「面心立法」は「面心立方」ではないか。
4(3)-20	添付資料4	5.1.2.1でジルカロイ-2についても記載しているが、評価上で参考になるのか。
4(3)-22	添付資料4	「アレニウス型温度依存性」について概要を説明すること。 (注1)の式の出典は何か。
4(3)-30	添付資料4	第5-4図の縦軸は振幅だが、単位がMpaで間違いないか。
4(3)-36	添付資料4	6.2において「引張強さはわずかに変化する」とはどういうことか説明すること。
4(3)-40	添付資料4	第7-5図と応力腐食割れの関係について説明すること。 「運転管理で考慮していることから」としているが、どこで担保しているのか。